【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年7月26日(2024.7.26)

【公開番号】特開2024-54158(P2024-54158A)
【公開日】令和6年4月16日(2024.4.16)
【年通号数】公開公報(特許)2024-070
【出願番号】特願2024-9315(P2024-9315)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ 25/06(2006.01)
Ａ６１Ｍ 25/00(2006.01)
Ａ６１Ｆ 2/01(2006.01)
Ａ６１Ｂ 17/22(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ 25/06 ５５６
Ａ６１Ｍ 25/00 ５３０
Ａ６１Ｆ 2/01
Ａ６１Ｂ 17/22 ５２８

【手続補正書】
【提出日】令和6年7月18日(2024.7.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
近位部と遠位部とを含む細長い部材と、
前記細長い部材の前記遠位部またはその近くに配置された突出部と、を備え、
前記突出部は、放射線不透過性マーカーを含む、ことを特徴とするガイドワイヤ。
【請求項２】
前記突出部は、ポリマー材料で構成されている、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項３】
前記突出部は、拡張形状の形状を含む、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項４】
前記突出部は、菱形の形状を含む、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項５】
前記突出部は、遠位方向に向かって、より大きな直径または幅からより小さな直径または幅へと先細りになる、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項６】
前記放射線不透過性マーカーは、円形マーカーバンドで構成されている、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項７】
前記円形のマーカーバンドは、前記突出部の中央部分の周りに固定されている、請求項６のガイドワイヤ。
【請求項８】
前記放射線不透過性マーカーは、白金、タンタル、パラジウム、または金で構成されている、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項９】

前記ガイドワイヤは、第１の均一直径セクション、第２の均一直径セクション、および第１の均一直径セクションと第２の均一直径セクションとの間のテーパセクションを含む、請求項１のガイドワイヤ。
【請求項１０】
前記第２の均一直径セクションは、前記第１の均一直径セクションに対して遠位にある、請求項９のガイドワイヤ。
【請求項１１】
前記第２の均一直径セクションの直径は、前記第１の均一直径セクションの直径よりも小さい、請求項１０のガイドワイヤ。
【請求項１２】
前記第２の均一直径セクション上に配置されたコイルをさらに含む、請求項９のガイドワイヤ。
【請求項１３】
前記コイルは、非放射線不透過性部分と放射線不透過性部分から構成される、請求項１２のガイドワイヤ。
【請求項１４】
前記非放射線不透過性部分は、前記放射線不透過性部分に対して近位にある、請求項１３のガイドワイヤ。
【請求項１５】
前記ガイドワイヤは、第１の直径を有する近位セクションと、第２の直径を有する遠位セクションとを含み、前記第１の直径は前記第２の直径よりも大きい、請求項１のガイドワイヤ。